

## 噴火浅根の火山活動解説資料（令和5年6月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

今期間、噴火は認められませんでした。14日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、噴火浅根付近に変色水が認められました。今後の火山活動の推移に注意してください。

引き続き、噴火浅根の周辺海域では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意が必要です。

令和4年3月27日に噴火警報（周辺海域）及び火山現象に関する海上警報を発表しました。その後警戒事項に変更はありません。

### ○ 活動概況（図2）

今期間、気象衛星ひまわりの観測では、噴火は確認されていません。14日に海上保安庁が実施した上空からの観測結果によると、噴火浅根付近に直径約50mの青白色の変色水が認められました。変色水分布の拡大等、今後さらなる火山活動の高まりがみられないか注意する必要があります。

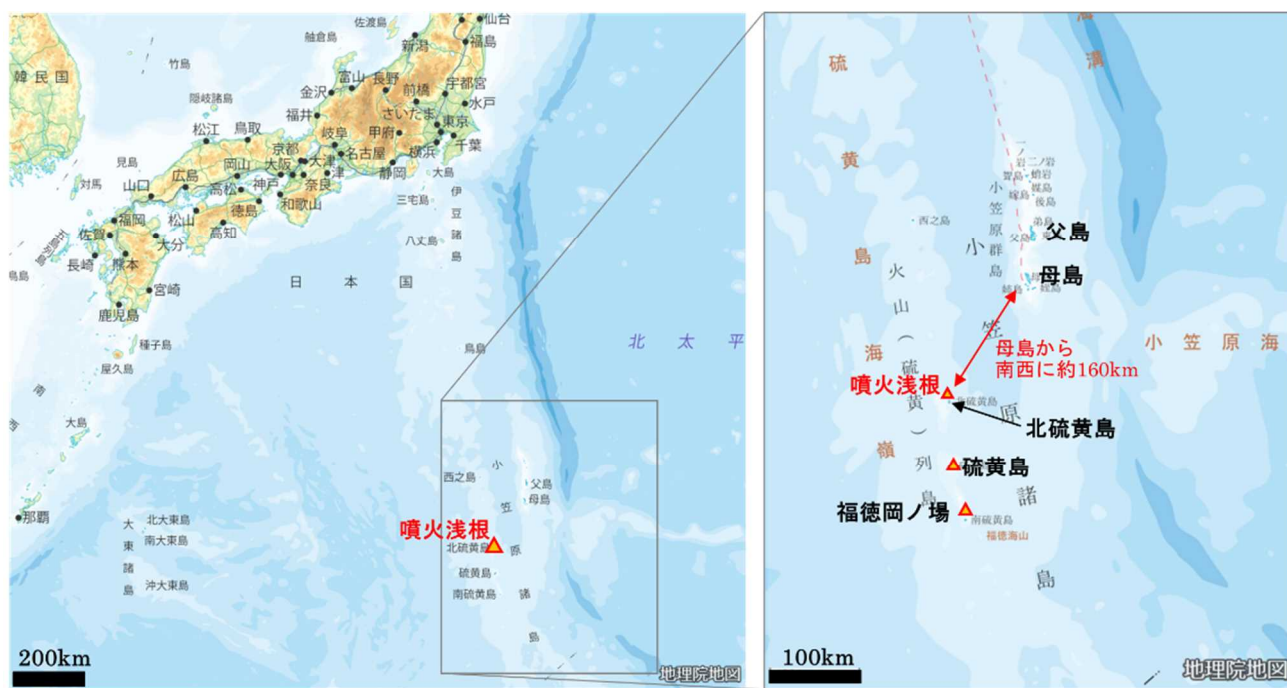


図1 噴火浅根 位置図

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は、海上保安庁及び海上自衛隊のデータを利用して作成しています。資料中の地図の作成に当たっては、国土院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。



図2 噴火浅根 14日の状況

・14日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、噴火浅根付近に直径約50mの青白色の変色水が認められました。

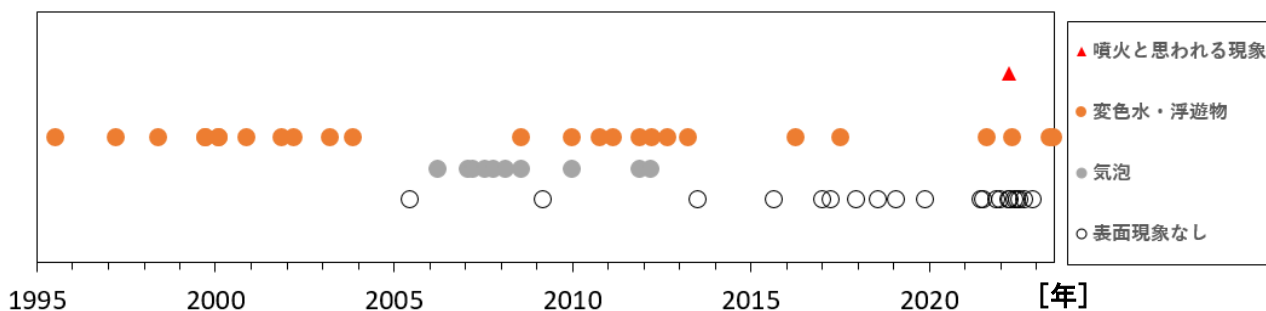


図3 噴火浅根 1995年以降の活動状況

シンボルがあるタイミングで観測が行われています。▲は噴火と思われる現象（気象衛星ひまわりによる観測）、●は変色水及び浮遊物の分布が認められた観測、●は気泡の湧出が認められた観測、○は変色水等を含め特段の表面現象が認められなかった観測を示します。  
海上保安庁及び海上自衛隊の観測による。

- ・2022年3月27日から翌28日にかけて噴煙と思われる雲域が観測されて以降、噴火は認められていません。
- ・噴火浅根付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。

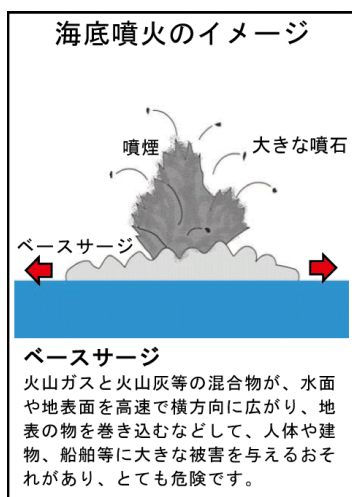


図4 海底噴火による影響のイメージ